

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
古典探究	3	全日制・普通科・3年次	高等学校古典探究(数研出版)					
科目の目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月 ～ 5月2週	日記文学/廬(蜻蛉日記)	読む こと	8	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A(1)ウ〕 主体的に学習に取り組む態度 文章中に書かれた作者の心情を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	行動の確認 記述の点検 (ノート、プリント)	・作者と道綱のやり取りを確認する。 ・「死にたい」けれど「死ねない」という相反する気持ちについてそれぞれの理由を理解する。 ・「あらずせば……」の歌に込められた作者の道綱への思いを読み取る。	作者と道綱のやりとりから道綱の思いについて考え、話し合う。	
5月 3週～ 5月4週	思想/荀子	読む こと	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文中書かれている主張の特徴について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	行動の確認 記述の点検 (ノート、プリント)	・本文における荀子の主張をまとめる。 ・性善説について自分の考えをまとめる。	性善説と性悪説を比較し、話し合う。	
6月 1週～ 6月2週	逸話/知音	読む こと	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文の話の流れを理解するために積極的に学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認 記述の点検 (ノート、プリント)	・この逸話から生まれた故事成語である「知音」は現在どのような意味で使われているか、確認する。 ・登場人物の関係性を理解する。	「知音」の現代での意味を調べ、どのような使い方ができるか考え、実際に使用してみる。	
6月 2週～ 4週	歴史物語/最後の除目(大鏡)	読む こと	8	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A(1)ウ〕 主体的に学習に取り組む態度 「大鏡」の歴史の意味、特徴について進んで考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	行動の分析 記述の点検 (ノート、プリント)	・政権と家を守ることへの執念がどのように描かれているかを本文中の描写から読み取る。 ・兼通・兼家それぞれの家と天皇家との関係について確認する。 ・若侍がなぜ反論したのかを考える。	「大鏡」の歴史を語る特徴について考え、話し合う。	
7月 1週～ 2週	探究の扉/栄花物語	読む こと	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A(1)ウ〕 主体的に学習に取り組む態度 「大鏡」との違い、歴史の意味、特徴について進んで考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	行動の分析 記述の点検 (ノート、プリント)	・歴史物語に分類される両作品の特徴を整理する。 ・円融天皇に対する兼通の働きかけの違いをまとめる。 ・「大鏡」と「栄花物語」の描き方の違いについて考える。	両作品の最後の一文を比較し、読み取れることを出し合う。	
9月 1週～ 3週	文章/捕蛇者説	読む こと	8	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文の内容から作者がこの説を執筆した理由を進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認 記述の点検 (ノート、プリント)	・永州の人が争って奔走したのなぜか読み取る。 ・韓愈の主張の理由を考える。	作者がこの説を執筆したのかグループで話し合う。	
				知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕	行動の確認	・能や世阿弥について確認する。 ・具体例が何をたどっているか考える。 ・「秘す」には二種類の意味があることをおさえ、本	「秘すれば花」という考え方が、能以外の分野であてはまる場面を話し合う。	

9月 4週～ 10月2 週	評論/秘すれば花(風姿花 伝)	読む こと	8	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A1〕ウ</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 作品から読み取れる筆者の考え方について積極的に考察しようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	文の結論をまとめる。	
10月 3週～ 11月1 週	漢詩/古体詩	読む こと	8	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1〕イ</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 漢詩について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	<p>行動の分析</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの詩について、一句の字数、一首の句数、押韻を確認する。 それぞれの詩について対句表現を抜き出し、表現効果を考察する。 	詩に用いられた修辞の効果について話し合う。
11月 2週～ 3週	探究の扉/比べ読み 漢文 と日本文学	読む こと	6	<p>知識・技能 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。〔1〕エ</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A1〕オ</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 漢詩と日本文学のかかわりについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	<p>記述の確認</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書家に掲載されている日本文学作品と中国文学作品を読み比べ、表現の類似点を指摘する。 	中国文学がどのような形で日本文学に影響を与えているのかを考察し、発表しあう。
11月 4週～ 12月1 週	近世随筆/師の説になづま ざること(玉勝間)	読む こと	8	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A1〕ウ</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 学問に対する宣長の考え方を積極的にまとめ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	<p>記述の確認</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国学について調べる。 「師の心」に対する宣長の受け取り方を読み取る。 「師の心」の誤りに対し、宣長はどのように対処するべきかと考えているかを読み取る。 	学問に対する宣長の考え方について話し合う。
12月 2週～ 1月2週	文章/師説	読む こと	8	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A1〕オ</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 積極的に筆者の主張をとらえ、学習の見直しをもって自分の考えを説明しようとしている。</p>	<p>記述の確認</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> どのような人が「師」となれるのか、筆者の主張を確認する。 「師の心」の誤りに対し、宣長はどのように対処するべきかと考えているかを読み取る。 	
1月 3週～ 2月1週	物語/須磨(源氏物語)	読む こと	9	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1〕イ</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</p>	<p>行動の確認</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 光源氏の教養に根ざす生活ぶりを読み取る。 登場人物の気持ちの推移をたどる。 主従の気持ちが一つになっていく様子をたどる。 	都を離れた光源氏の生活ぶりから、貴族の教養の奥深さについて考え、発表する。
2月 2週～ 3月1週	物語/紫の上の死(源氏物語)	読む こと	9	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A1〕オ</p>	<p>行動の確認</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の関係性を確認する。 和歌のやり取りから、そこに込められた思いを読み取る。 	紫の上の苦悩について本文中から読み取れる内容を話し合う。

				主体的に学習に取り組む態度 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)		
3月	思想/探究の扉 未来に備える遺伝子	読むこと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)才〕 主体的に学習に取り組む態度 諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見だし、積極的に文章に表そうとしている。	記述の確認 記述の点検 (ノート、プリント) 記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	・「未来に備える遺伝子」を読んで、単元内で学習した諸子百家の文章に見える考え方の共通点を考える。 ・諸子百家の文章から現代に通じる考え方を探し、文章としてまとめる。	諸子百家の文章に見える考え方から、現代社会に通用する部分を考察して文章にまとめる。
域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		0				
	書くこと		0				
	読むこと		105				
指導時間数の合計			105				